

神田小の誇りは「明るい笑顔」：すべては神田の子の「希望をはぐくむために」



学校だより

No. 5 さいたま市立神田小学校

平成29年 8月29日 発行 Ⅸ(853)4377
URL: <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>



絆（きずな）を 深める

校長 内野 多美子

今日から2学期が始まりました。今年の夏は、天候不順な日が続き、後半になって暑い日が数日ありましたが、子どもたちが元気に登校してくる様子を見ると、普段できない経験をたくさんして、一回り大きく、たくましくなったように感じました。大きな事故やけがの連絡もなく、無事に2学期を迎えることができますことに、保護者の皆様、地域の皆様から感謝申し上げます。

職員は、夏季休業期間を利用して、教育活動の充実のため、授業研究などの研修と環境整備を行ないました。環境整備については、例年実施している校舎内すべてのトイレの壁等の清掃、スリッパの消毒洗浄に加え、PTAの有志の皆様が進めてくださったベランダの手すりのペンキ塗り、PTAの皆様との協同作業による窓ガラスの清掃を行いました。暑い中、ご協力いただきました保護者の皆様に心よりお礼申し上げます。

さて、今日、始業式で子どもたちに、絆ホルモンともいわれている「オキシトシン」の話をしました。「オキシトシン」は脳から分泌されるホルモンで、人とのふれあいや人の役に立つことによりその分泌が促され、幸せな気持ちになったり、信頼の気持ちが増したりして、より親密な人間関係を築くことに作用するそうです。

2学期は、1年間で1番長い学期であり、修学旅行、自然の教室、社会科見学、オレンジフェスティバル等、楽しい学校行事が目白押しです。また、秋から冬にかけて気候も良く、集中して学習に取り組める時期でもあります。このような2学期に、友達と励まし合い、協力しながら学習や学校行事等に取り組むこと、積極的に手伝いなどをして家族の役に立つこと、あいさつなどを通して地域の方とのふれあいを深めることを大切にしたいと思います。そして、その中で人とのふれあいを通して絆を深め、自分も周りの人も幸せにできる人に成長してほしいと思っています。

9月22日（金）には神田小学校開校40周年式典が開催されます。開校以来40年にわたる地域の皆様、保護者の皆様との絆をさらに深め、より一層の発展を目指し、教職員一同2学期も心をついに日々の教育活動に取り組んでまいります。引き続き、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。